

一斉情報発信「東日本大震災から6年を迎えて」の一環として  
記者懇談会『酒田港の今、これから』を開催します

国土交通省東北地方整備局港湾空港部では、東日本大震災から丸6年を迎えるにあたり、東北管内の全港湾事務所と連携し、これまでの復旧・復興事業の歩みや復興の息吹を感じる新たな動き等について、一斉に情報発信を行います。

これにあわせ、酒田港湾事務所では、昨今、取り巻く状況が著しく変化している酒田港に関する記者懇談会『酒田港の今、これから』を、下記の通り開催致します。

酒田港の現在の状況と、今後の見通し等について、関連するデータ等を交え、説明させていただきます。

記

●日時

平成29年3月10日（金） 14:00～15:00（目途）

●場所

国土交通省東北地方整備局酒田港湾事務所 2階会議室

●主な話題

コンテナ物流

クルーズ船寄港

エネルギー供給拠点

賑わいの場としての魅力

酒田港整備について 他

●参加申込み

参加を希望される方は、3月6日（月）15時までに、以下の問い合わせ先にお知らせください。

発表記者会等：酒田記者クラブ

【問い合わせ先】国土交通省 東北地方整備局 酒田港湾事務所

電話：0234（33）6314

企画調整課長 鮎貝（あゆがい）

がんばろう！東北

平成29年3月1日  
東北地方整備局 港湾空港部

## 東日本大震災から6年間の港湾の復旧・復興の 取り組みや取り巻く情勢等を情報発信いたします

東日本大震災から6年を迎えるにあたり、これまでの港湾の復旧・復興の取り組みや、各港で現れ始めている復興創生の状況、取り巻く情勢等について、東北地方整備局港湾空港部のホームページにて情報発信いたします。

本年3月11日（土）で、東日本大震災から丸6年が経過します。この間、東北管内の太平洋側港湾では、災害復旧事業や復興事業等を強力に推進し、東北の復興に向け、全力で取り組んで参りました。

現在では、東北全体の港湾取扱貨物量は震災前の水準を超えるまでに回復し、コンテナ取扱個数も過去最高を更新しております。また、クルーズ船の需要増大に対応した受入環境の整備についても、ハード・ソフトの両面での取り組みが進んでおります。更に、港湾周辺で物流倉庫や工場、発電所などの企業立地が進むなど、震災復興が形として現れ始めております。

そこで、東北地方整備局港湾空港部では、当部ホームページ内の特設サイトにおいて、この6年間の取り組みや取り巻く情勢等について広く情報発信いたします。

なお、管内の港湾関係各事務所においても、様々な復興の動きなどを紹介しております。是非、下記URLのリンクよりご覧下さい。

### ■ 東北地方整備局港湾空港部ホームページ

特設サイト【東北の港湾の復旧・復興状況～復興最前線～】

<http://www.pa.thr.mlit.go.jp/kakyoin/disaster/index.html>



### 【発表記者會】

宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

### 【お問合せ先】

国土交通省 東北地方整備局 港湾空港部 電話：22-716-0005（直通）  
港湾物流企画室 室長 晴山 真澄  
課長補佐 外久保 剛史